

第三節 大正十一年

大正十一年度東京美術學校年報

甲 款

概況

大正十一年四月十二日豫備科及本科入學許可者氏名ヲ官報ニテ發表ス

同年四月九日新入學生ノ入學式ヲ行フ

同年九月二十二日選科入學許可者氏名ヲ官報ニテ發表ス

同年十月四日日本校設置記念日ナリシモ本年ハ都合ニヨリ記念式ヲ舉行セス同日單ニ休業トセリ

同年十月三十日學制頒布五十年記念日舉行ニ付文部次官ヨリ通牒アリ 依テ臨時休業トス

大正十二年一月九日午前十時ヨリ例ニ依リ職員生徒一同講堂ニ參集シ授業始式ヲ舉ケ 御眞影奉拜 勅語奉讀ヲ行ヒタリ

同年二月十四日故元帥陸軍大將伏見宮貞愛親王殿下ノ國葬ヲ行ハ

ル、ニ付敬悼ノ意ヲ表シテ臨時休業セリ

同年三月二十四日午前十時ヨリ本校第三十二回卒業式ヲ行ヒ例ニ

依リテ卒業製作ヲ別室ニ陳列シテ來賓ノ觀覽ニ供シ翌二十五、二十六兩日間廣ク本校關係者及有志者等ニ觀覽セシメタリ

規程

本年度内ニ在リテハ創定又ハ改正セラレタルモノナン

設備

一、日本畫科標本臨時設備費

一、西洋畫科標本臨時設備費

一、彫刻科標本臨時設備費

〔以下大正九年度以降年報と同文につき省略〕

職員

本年度ニ於ケル職員數ハ學校長一人教授二十九人(内二人ハ在外研究員ニシテ定員外ノモノ)

助教二十人(内一人ハ在外研究員ニシテ定員外ノモノ)書記五人囑託講師十五人同教員九人

同醫師一人副科囑託三人教務員七人事務員十一人ニシテ之ヲ前年

度末ニ比スレバ助教一人囑託講師二人事務員二人ヲ増シ教授三

人書記一人囑託教員四人ヲ減シ其他ニ在リテハ増減ナシ

本校教官ニシテ文部省在外研究員ヲ命ゼラレ在外研究中ノモノ前

年度末ニ於テ教授五人助教二人アリシガ本年度末ニ於テハ教授

二人助教一人アリ

休職員ハ前年度末教授二人ナリシガ本年度末ニ於テハ助教二人

ナリ

生徒

全體ニ於ケル生徒ノ學力操行健康ノ狀態ハ前年度ニ比シ著シキ差

違ナク新入學生モ亦同様ナレトモ健康狀態ハ佳良ナリ

本年度新入學生ハ本科百十六人選科二十三人(外ニ外國人三人アリ)

圖書師範科二十四人研究生三十七人ニシテ其入學者ノ學力程

度ハ本科生ニ在リテハ官公立中學校卒業者五十三人(内豫備科修了者四十九人)私

立中學校卒業者四十五人(内豫備科修了者四十一人)師範學校卒業者一人(豫備科修了者一人)工

業學校卒業者十五人(全部豫備科修了者)工藝學校卒業者九人(全部豫備科修了者)本校卒

業者ニシテ再入學者一人ナリ

選科生ニ在リテハ官公立中學校卒業者一人人工藝學校卒業者一人中
學二年修了者四人高等小學校卒業者十人高等普通學校卒業者三人
高等師範學校專修科卒業者一人尋常小學校卒業者ニシテ入學試験
合格ノモノ三人ナリ 圖畫師範科生ニ在リテハ官公立中學校卒業
者八人師範學校卒業者十六人ナリ 研究生三十七人ハ孰レモ本校
卒業者ノ入學シタルモノトス

新入學生ノ年齢ハ本科生ニ在リテハ最高二十七年十一月最低十
八年二月ニシテ平均二十一年二月ナリ選科生ハ最高二十六年
最低十八年九月ニシテ平均二十二年ナリ 圖畫師範科生ハ最高
二十六年四月最低二十年三月ニシテ平均二十二年六月ナリ
研究生ハ最高三十一年二月最低二十三年二月ニシテ平均二
十七年一ヶ月ナリ(以上外國
人ハ除ク)

生徒ノ入退學者ハ本年度入學者ハ本科百十六人選科二十三人(外
ニ外國人三人アリ) 圖畫師範科二十四人研究生三十七人ニシテ退
學者ハ病氣退學十人家事係累退學三十三人除名十九人死亡四人在
學資格消滅二十六人(內豫備科二人研究生二十三人本科一人)ニ
シテ外ニ復校一人アリ 今之ヲ前年度ニ比スレバ入學者ハ本科ニ
テ十二人圖畫師範科ニテ二人ヲ増加シ選科ニテ八人研究生ニテ七
人ヲ減シ退學者ニ在リテハ病氣退學ニ四人ヲ増シ家事係累退學ニ
六人ヲ増シ除名ニ五人ヲ増シ死亡ニ二人ヲ増シ再入學ニ一人ヲ減
ス 資格消滅ハ豫備科ニ七人ヲ減シ研究生ニ七人ヲ増シ圖畫師範
科ニ一人ヲ減シタリ 生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度末
ニ比スレバ西洋畫科ニ八人彫刻科ニ八人圖案科ニ九人金工科ニ三

人漆工科ニ三人臨時寫眞科ニ五人選科ニ七人圖畫師範科ニ三人ヲ
増加シタリ 而シテ日本畫科ニ八人鑄造科ニ三人研究生二十人ヲ
減セリ 而シテ總體ニ於ケル差引ノ結果ハ二十五人ノ増加トナレ
リ 此増加ノ原因ハ主トシテ臨時寫眞科ニ於テ前年度ニ生徒ノ募
入ナキモ本年度ニ生徒ヲ募入シ其他西洋畫科、彫刻科、圖案科等
ニ於テモ増加セシニ因レリ 又此外ニ本年度末ノ外國人ハ選科十
五人アリ 前年度末ニ比シテ二人ヲ減セリ

本年度ノ卒業生ハ本科七十人選科十二人(內二人ハ外國人)ナリ
圖畫師範科二十人計百二人ニシテ前年度ニ比スレバ十人ヲ減シ
タリ 是レ臨時寫眞科及製版科ニテ卒業生ナキニ依リ前年度ニ比
シテ少シク減少セシ為メナリ

生徒中學術品行殊ニ優等ナルモノヲ選ヒ本校規則第二十六條ニ依
リテ特待生ト為シ大正十一年七月ヨリ一學年間ノ授業料ヲ免除セ
シモノ十八人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ三人ヲ減シタリ

圖畫師範科生徒ニハ前年度ト同ジク學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノ
ニ等左ヲ付シテ獎勵金ヲ給與セリ 即チ大正十一年十月及同十二
年一月、二月ノ三回ニ全科生徒ノ競技會ヲ催フシ其成績ヲ考查シ
優秀ナルモノニ獎勵金ヲ與ヘ又年度末ニ於テ別ニ學術操行ノ優等
ナルモノヲ撰拔シテ同シク獎勵金ヲ付與シタリ

大正十二年三月末卒業スベキ各本科並ニ選科生徒等四十二人ノ實
地修學ノタメ本年度ノ初四月一日ヨリ同月十七日ニ至ル十七日間
教授一人講師二人書記一人之ガ引率又ハ附添ニ任ジ京都府奈良縣
及滋賀縣下ニ出張シテ著名ナル神社佛閣等ヲ歴觀シテ美術上ノ研
究ヲ為サンメタリ

同シク十二年三月末卒業スベキ圖書師範科生徒二十人ヲシテ實地授業法ノ調査研究ノタメ本年度五月八日ヨリ同月十九日ニ至ル十二日間教授一人助教一人交互ニ之ヲ引率シ愛知、三重、奈良、大阪、京都ノ二府三縣下ニ出張シ調査研究ヲ為サシメタリ
本校ニ於テハ生徒皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ關シテ申報スベキ事項ナシ

將來施設上重要ト認ムル件

在外研究員ノ増員并ニ教官ノ外國派遣ノ件〔大正十年報告と〕
〔同文につき省略。〕

豫備科教室新築ノ件 〔同右。〕

彫刻科教室増築ノ件 〔同右。〕

女子部新設ノ件 〔同右。〕

雜件

生徒實驗ノ資ニ供スルタメ諸所ヨリ依囑ヲ受ケ製作ニ従事シタルモノ、中重ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

依囑製作一覽

品名	數量	受託年度	本年度竣工	依託者
金七寶製表文笥臺	壹個	大正十年度	竣工	東京市役所
付本邦名欄〔勝〕繪畫帖時繪箱入奉迎文並ニ鏤細詩繪内箱	壹個	同	同	東京府
案	壹個	同	同	同
奉迎文寫眞	四拾貳枚	同	同	宮内大臣官房
捧呈畫帖復製	參百拾五冊	同	同	東京府
畜産共進會賞牌	壹百貳拾六個	同	同	農商務省
御紋付銀製洋盃	壹個	同	同	宮内大臣官房 用度課

賞	品名	數量	受託年度	本年度竣工	依託者
(小型三等賞銅牌)	銀製花瓶	九個	同	同	農商務省
	大阪圖書館ニツテ石膏製標本シーザ胸像外一	壹對	同	同	八幡市役所
	石膏製標本	貳個	同	同	本莊熊次郎
	置時計	貳個	同	同	白瀧幾之助
	同上	貳個	同	同	東京高等工藝學校
	油繪肖像額	壹個	同	同	小林萬吾
	同上額綠	壹個	同	同	宮内大臣官房 用度課
	等身胸像	壹個	同	同	河原塚重忠
	エンソン翁懸燈臺	壹基	同	同	同上
	石膏標本モリエル胸像	壹個	同	同	帝國發明協會
	石膏標本	壹個	同	同	岡田三郎助
	木彫申置物	壹個	同	同	愛知縣龜崎尋常小學校
	石膏標本	壹個	同	同	宮内大臣官房 用度課
	平和博覽會賞牌	壹萬貳千五百拾五個	同	同	石川縣立工業學校

『東京美術學校校友會月報』記事抜粹

東京美術學校近事(二〇一七)卷男 T・十一年・三・七日

○職員辭令

大正十一年一月九日

京都府へ出張ヲ命ズ 但往復共五日間ノ事
書記 北浦 大介